



卒業おめでとう

## 特集1 はじまるよ！春のNEWS

特集2  
あたりまえをありがたいと思うエピソード表彰式

特集3  
希望を胸に、羽ばたこう 卒園・卒業式



今月の特集  
この春始まるさまざまな人の取り組みをお伝えします。※写真は「やすらぎ工房」の二瓶貴大さん



大いなる田舎  
までいライフ  
いいたて

# はじまるよ！

ニュース

# 春のNEWS

若葉が芽吹き、花々がほころび始める  
この季節にぴったりな  
「はじまる」ニュースをお伝えします！

いいたて四季彩景 ● 春うらら



満開の梅が春の陽を浴びながら気持ちよさそうにヒバリのさえずりを聴いていました。（小宮地区）

## 春のNEWS その1

「なりわい農業」も  
「いきがい農業」も

平成29年度からこれまでに、出荷を行う「なりわい農業」に76件、自家用に生産する「いきがい農業」に293件、さらに「新たな農業」には11件が取り組んできました。この春新たに再開を希望する方は、事前に復興対策課農政係までご相談ください。

※P27にも関連情報があります。

農政第一係 ☎0244-42-1621  
農政第二係 ☎0244-42-1625

## 前進する 農業の再生

2月から3月にかけて、村では、「畜産再開セミナー」「花き営農再開セミナー」「平成30年度農業者等との意見交換会」などが次々に開催され、農業者と関係者が、さまざまな角度から意見を交わしました。

「農業者等との意見交換会」では、村復興対策課農政第一係の杉岡誠係長が講演しました。杉岡係長は、農業再生の現状を多様な事例で紹介。「課題」とは「解決すべき問題のこと」と捉えて、前向きに取り組んできたこと、次の段階に向けた施策展開が必要なことなどを説明しました。参加者も、地域ごとの

温度差を踏まえての対応、基盤整備や土壌づくりの課題、獣害対策、新技術導入などについて次々に発言し、意見や提案を交わしました。風評被害についての対話では、課題を踏まえながらも、「村については、いいものはきちんと評価されている」「園芸作物には風評被害はないと言っている」「こちらが奥手にならない方がいい。よいものをつくって、村に來なければ買えませんよと言ってくるくらいはいい」と胸を張ってやってほしいなどの意見がありました。



村農業委員会が開催した「農業者等との意見交換会」。3月1日、宿泊体験館きこりにて



## CONTENTS 目次

- 3 特集1 はじまるよ！春のNEWS
- 8 復興を歩む あたりまえをありがたいと思う日
- 10 特集2 あたりまえをありがたいと思うエピソード
- 12 特集3 希望を胸に、羽ばたこう 卒園・卒業式
- 14 報告のページ 3月議会定例会
- 16 平成31年度予算と主な事業
- 20 職員人事／役場連絡先一覧
- 22 教育のページ ほけんとふくし
- 24 いいたて便り
- 26 つながるアルバム
- 27 ちょっと昔のいいたてライフ ほか
- 28 おしらせのページ 3月のできごと ほか
- 29 入札結果 ほか
- 30 ひとかたるものがたり / 堀先生相談室
- 31 こころのぼけっと / ひとのうごき
- 32 ホープス / 編集後記

中学校、こども園、小学校で、卒業式、卒園式が続いた3月。共に日々を過ごしてきた学校エリアで、皆が、卒業生・卒園児を見送りました。笑顔あり、涙あり。今の環境ならではの温かなシーンがたくさん見られました。表紙と下の写真は、小学校の卒業の日のワンシーンです。



● 表紙のおはなし ●

かじ  
日本鍛冶学会  
やすらぎ工房  
in 飯舘村



夏頃の本格オープンを目指す飯舘工場で、3月2日・3日に、「日本鍛冶学会」の研修会が行われました。「日本鍛冶学会」は、刃物の生産地である新潟県三条市で昨年発足し、吉金刃物製作所（三条市）の4代目・山本和臣さん（写真中央）が会長を務めています。学会には、三条市、たたら製鉄の技術を継承する島根県雲南市の「鉄の歴史村地域振興事業団」、研ぎや柄づくりなど関連産業の職人なども名を連ねます。この日は飯舘工場の設備を使って、山本会長や、東京都八王子市の佐藤重利刀匠（写真前列右）が実演を行いました。

三条市では、鍛冶技術の継承や伝統産業の振興を目的に、これまで年1回のフォーラムを開いてきましたが、それを後継する取り組みとして「日本鍛冶学会」を立ち上げ、現在は2か月に1回ほどのペースで活動を深めています。

飯舘工場で会員を出迎えた二瓶代表が、「やすらぎ工房」と飯舘村との出会いを紹介すると、山本会長は「福島も飯舘村も元気になっているよと、地元に戻ったらそれぞれPRをしましょう」と会員に呼びかけました。



貴大さんが師事する藤安将平刀匠(左)も会場へ。藤安刀匠は、古刀再現の第一人者として全国に知られる名工で、福島市立子山に鍛刀場を構えています。



福島市三河北町の店舗前で。代表の二瓶信男さん(右)と息子の貴大さん。「やすらぎ工房」は、プロの道具の製作から家庭の刃物の手入れまでを広く手掛けていて、その腕を頼りに遠方から通う常連客もあります。

## 村に鍛冶工房が誕生します

### 旧園舎を活用して「村の鍛冶屋に」

旧草野幼稚園園舎が、鍛冶工房に生まれ変わることになりました。福島市で刃物店を営む「やすらぎ工房」の飯舘工場が誕生します。

代表の二瓶信男さんは、数年前から、息子の貴大さんと共に、新たな工房の候補地を探していました。「あちこち足を運びましたが、心底話を聞いてくれたのは飯舘村だけでした。鋸鍛冶だった先代の親父は、丁寧に真剣に「がモツト」で、今までにやれどよく言われたものです。飯舘村が「ままでの村」と聞いて、親父の言葉を思い出しました」。信男さんは「村の鍛冶屋になれるようがんばりたい」と笑顔を見せました。

息子の貴大さんは、信男さんの頼もしい右腕。貴大さんが立ち上げた工房のHPでは海外からの注文も伸びています。「研ぐなど道具の手入れをして長く使う海外の地域でも、より質のいいものが求められていると感じます」。

### まっすぐで奥深い職人の世界

貴大さんは、大学卒業後、県外の自動車部品製造会社に就職しましたが、家業を継ぐ決意で福島に戻って来ました。信男さんは「震災も一つのきっかけだったのかも」と言いながら「うれしかったですね。張り合いが全然違います」としみじみ。父の仕事を見て育った貴大さんの成長は著しく、全工程を一貫して行う新潟県三条市の工房で修行をしたり、福島市立子山の刀匠の元で刀鍛冶を学んだり、意欲的に技術を高めています。包丁類と刀とでは製法がまるで異なるそうですが、「歴史や文化、日本人の心を学びたい」と言います。信男さんは「職人は難しければ難しいほど、その奥を見てみたいと思ってしまう。人からは見えない部分に手を掛けますから、いい暮らしはできない訳です。すよね」と笑いました。

飯舘工場は生産拠点となりますが、「将来的には体験講座やギャラリーも開きたい」と、2人の夢はふくらみます。



5/1  
OPEN!

### 氣まぐれ茶屋ちえこ

相馬郡飯舘村佐須字佐須200  
☎0244-42-1303 (※5月から)

● 営業案内 ●  
【営業日】火・水・木曜日 ※それ以外は予約のみ  
【営業時間】午前11時～午後3時



囲炉裏もあり和のしつらえが楽しい店内。個室もあります(下の写真)



# 氣まぐれ茶屋ちえこ再オープンへ

## 起業して15年一歩一歩進んできた道がある

佐々木千榮子さん(佐須)が震災前に営んでいた農家レストラン「氣まぐれ茶屋ちえこ」が、5月1日に再オープンします。佐々木さんの起業は、59歳の時。菓子製造業が始まりです。

高齢者の畑仕事を収入につなげてあげたいという思いから、大福の加工室をつくりました。「村が平成の大合併の時期に自立を決めたでしょう。そこで私も自立しなくちゃと思ったの。同級生には笑われたけど」。農家レストランは、その後、自家製の野菜を活用しようと始

めました。「直売所に出しても、消毒をしない野菜には虫食いもあるから、当時は好まれなかったの」。さらにはレストランで提供するどぶろくづくりにも着手。特区の許可を取得するのに大変苦労しましたが、どぶろくは人気を博し、テレビや雑誌にも取り上げられました。

## 気軽に集まりワイワイできたら

開業後に乳がんが見つかるなど、困難を打ち破りながら経営を続けて6年。レストランは、遠くからも人が訪れる店に成長していました。しかし待ち受けていたのは、避難による休業でした。平成24年には夫の勝男さんが他界。千榮子さんは苦しみながらも、どぶろく特区の許可を避難先で再取得し、息子の剛さんと、どぶろくづくりを続けました。「負けたくなかった。商売にならなくても、村に戻った時につなげたかったの」。

そしてようやく、今年から村の自宅の蔵で、どぶろくづくりを再開。レストランも8年ぶりの再オープンに向け、準備を進めています。「初めのうちは、凍み餅や漬物、きのこ汁や豚汁なんかを、ワンコインで気軽に味わってもらおうと考えているの。お食事は予約のみにして、徐々に広げていければね」。千榮子さんは、「人にまず来てもらいたい」と話します。「退屈な人はここにおいでと言いたい。皆で集まりお昼を食べてワイワイできればうれしい」。元年の最初の日の再スタートを目指します。



佐々木千榮子さん

春のNEWS  
その3



新鮮な魚の差し入れ。友人達も再オープンが待ち遠しい



手前がどぶろくを生産する蔵。奥に見えるのがレストラン

# 復興を歩む

vol.47  
最終回

## あたりまえをありがたいと思う日

3月10日、交流センター「ふれ愛館」で、「あたりまえをありがたいと思うエピソード表彰式」が行われました。

村は、被災により改めて気がついた「あたりまえのありがたさ」を広く伝えようと、昨年、3月11日を「あたりまえをありがとうの日」とし、今年も「あたりまえをありがとうの日」として、全国に向けて、「あたりまえをありがとうと思うエピソード」を募集し、寄せられた約100通の作品から各賞を選びました。

式の初めに、菅野村長が、震災の犠牲者に哀悼の意を表し、「多くの人が、今、平凡だと思っていた日が大切だったと話している。この気持ちを忘れないようにしなければならぬという思いから生まれた企画。いろいろなエピソードを寄せていただき、ありがとうございます」と感謝しました。式では表彰に続いて、4人の

上位入賞者が、ふるさと、家族、人生などをテーマにしたそれぞれの作品を朗読。120人を越える聴衆が、ありふれた日常の幸せに思いを馳せました。

優秀賞を受賞した相良玲華さん(白石)は、婚約者への感謝をつづり、婚約者本人には伝えずに応募しました。その思いを壇上から客席の彼に伝えることとなり、会場も、胸キュンの場面をあたたかく見守りました。

また、愛知県の春日井市立東部中学校の3年1組では、担任の服部貴裕先生が、この企画を道徳の授業で取り上げ、生徒の皆さんの言葉を村に届けてくださいました。村は、3年1組に、特別賞を贈りました。

式の第2部では、歌手・大島花子さんのミニコンサートが開かれ、エピソードのやさしさが染みわたった聴衆の心を、美しい歌声がさらに満たしてくれました。南相馬市から来場した女性は、「同級生に誘われて来ました。エピソードを聞いて、確かにその通りだと。あたりまえに感謝して生きていきたいと思いました」と話していました。



あたりまえをありがたいと思うエピソード表彰式  
大島花子ミニコンサート

語りかけるようにエピソードを朗読する最優秀賞の渡邊陽南子さん。表彰式に出席するため千葉県から来村しました。「飯館村は、自然の豊かさが私の故郷と共通しています。建物などの便利なものが自然の中にあって、どちらかがどちらかを傷つけることなく共存している風景だと感じました」と村の印象を話しました。



3月11日は  
あたりまえを  
ありがたいと  
思う日

いただきます

# 飯舘村

## 入賞作品を 紹介します

### 入賞者紹介

- 最優秀賞 渡邊 陽南子さん (千葉県)
- 優秀賞 折笠 友一さん (二本松市)  
中島 のり子さん (伊達市)  
相良 玲華さん (飯舘村)
- ほっこり賞 上田 秀さん (飯舘村)  
竹村 優奈さん (東京都)  
厚木 剛さん (東京都)  
佐藤 公子さん (飯舘村)  
三村 恭生さん (愛知県)
- 特別賞 愛知県春日井市立東部中学校3年1組

たくさんのご応募をありがとうございました

### 最優秀賞 渡邊陽南子さんのエピソード

生まれ育った田舎のまちの自然や風景や暮らしを、特別幸せだと思ったことはなかった。でも、大学生になって上京した私は、帰省のたびに空気がおいしいとか満天の星が綺麗だとか、本気で感じて心から癒され、涙が出そうになる時もあった。それは、「あたりまえ」ではなく「幸せ」だったのだ。その幸せがあることに、それに気付けたことに、心から感謝したいと思った。私も飯舘の人たちと同じ思いで、3月11日を「私にとってのあたりまえをありがたいと思う日」にしよう。あたりまえという幸せがずっと続くように…。そう思わせてくれたこのプロジェクト、3月11日への思いとの出会いが、また幸せだと思えている私だった。



### 大島花子さんのミニコンサート 表彰式の第2部。心いやす素敵な歌を聴かせていただきました。

3月11日に合わせて東北を訪れていた大島花子さんが「あたりまえをありがたいと思う日」の主旨に賛同し、素敵な歌を届けてくださいました。父である歌手の坂本九さんを、11歳の時に、飛行機事故で亡くした大島さんは、来場者に思いを寄せ、「父とは亡くなる前日も一緒に過ごしていました。テレビで高校野球を中継していて、父と一緒に草むしりをして、母が作ったかき氷を食べる…。もしもあの日に戻れたら、同じようにあたりまえの何でもない時間を過ごしたいと思うんです。生きていくことの幸せ、今があることの尊さを、強く心に想っています」と語りました。



### 優秀賞 折笠友一さんのエピソード

人は一人だけでは生きられない。37年前のことでした。順風満帆。心そのままの生活に甚だしい生き様の自分であったと振り返る。思い通りに勇ましくなり、威圧的な態度を取っていた私でした。ある日、不慮の事故で車いす生活の障がい者となりました。予期せぬ出来事に前途を悲観し、この世を諦め掛けたことも事実でした。そんな中、周りの人から支え、励まされ、生きる力と勇気を貰いました。人の心のあたたかかい思いやり、恩愛の絆に人間は決して、自分だけ一人で生きていることではないと会得しました。思い起こせば、あのときのことがあったからこそであり、共に生きる人間社会。私は素晴らしい人生に心から感謝です。



### 優秀賞 相良玲華さんのエピソード

幸せを教えてくださいました貴方へ。私は昨年、貴方(婚約者)と同棲を始めました。「ありがとう。」  
「ご飯の支度を終えた時、洗濯物を干し終えた時、お風呂を洗い終えた時。いつも貴方は私に言ってくれます。この言葉は、気持ちを素直に伝えられない貴方が、唯一素直に伝えてくれる言葉です。」  
2011年3月11日、東日本大震災が発生しました。貴方は、まだお付き合いをしていなかったにも関わらず、私を心身ともに支えてくれました。当時、入手困難だった食料や衛生用品を、段ボールに沢山入れ、届けてくれました。  
放射能が怖くてたまらなかった毎日。でも、そんな私に貴方は「飯舘村、放射能値下がってきてるよー!」  
「心配することないよ、絶対大丈夫!」  
そう言ってくれて、来る日も来る日も励ましてくれました。貴方となら、この先何があっても乗り越えられる。ずっと一緒にいたい。私の溢れる気持ちを伝えた日から、2人のお付き合いが始まりましたね。  
—それから約8年。  
今も私の隣には、もうすぐ入籍を控えた貴方がいます。最近「可愛い」とも「好きだよ」とも言ってくれないけど、私は貴方の優しさを誰よりも知っています。貴方のおかげで、当たり前のように笑顔いっぱい毎日を送れること。当たり前のように幸せいっぱい毎日を送れること。本当に感謝しています。  
これから、人生まだまだ長いけれど、どんな時も2人ですとこの気持ちを、この言葉を大切に生きていきましょね。「ありがとう。」



### 優秀賞 中島のり子さんのエピソード

「あたりまえをありがたいと思う日」に寄せて  
私は、平成30年11月、夫を胃癌のため亡くしました。東日本大震災で大切な方を亡くされた方もたくさんいらっしゃいます。どこか他人事のように受け止めておりましたが、今、自分が大切な人を失って、日常のあたりまえのありがたさを痛切に感じています。



「昨日までの日常の幸せが明日も必ずあるとは限らない。だから今日一日、精一杯生きて、後悔しないように。」と主人が常々言っていた事を思い出しています。  
普通の日常の幸せ、何げない会話、健康、これは、あたりまえのように思いますがそつではありません。  
一日一日を大切に生きて行くことが本当に大事だと改めて心にかけています。

## までの里のこども園

### 子ども園、初めての卒園式

3月18日、までの里のこども園のはじめの卒園式が行われました。この日は、4人の子ども達が卒園児として式に参加。式では、「おいしいご飯を作ってくれてありがとう」「肩車してくれてありがとう」と両親への感謝を伝え、成長した姿を見せてくれました。



菅野 真安さん  
楽しかったこと…なわ跳び



高橋 ルイさん  
楽しかったこと…そり滑り



花井 晴煌さん  
楽しかったこと…車のポスターを見る



花井 聡一郎さん  
楽しかったこと…夏祭りの金魚すくい



4人の卒園児がこども園から巣立ちました

# 希望を胸に、羽ばたこう

## ～卒園・卒業式～



3月、昨年4月に村内ではじまった認定こども園、小、中学校でそれぞれ卒園・卒業式が行われました。

村内の学校で迎える、震災後初めての旅立ちの日。式後の見送りには、同じ敷地で共に学び、過ごした子ども達、先生ら全員が姿を見せました。涙交じりの笑顔と「またね」の声が春の風に乗って響いた門出の日をお伝えします。

## 飯館中学校

### 村の学校の最高学年として

3月13日、飯館中学校を22人の生徒が卒業しました。仮設校舎の閉校の際、「飯館中の卒業証書がほしい」と全員が村内の学校に通学し、迎えた晴れの日。

合同行事やホストタウン事業など、誰も歩んだことのない新しいことに取り組んできた生徒の表情は、自信に満ちていました。



こども園の子ども達もお見送りに参加です



### たくさんの思い出をありがとう

3月22日、草野小7人、飯樋小5人、白石小2人の計14人の児童が卒業の日を迎えました。入学式は川俣町にあった仮設校舎でした。「震災後の入学式から、いつも一緒に笑い、6年間過ごした日々を忘れません」と学び舎での思い出をふり返りました。

式の最後には、在校生と一緒に3校の校歌を歌い、6年間の小学校生活に別れを告げました。



在校生から手渡された花を手に新たな一歩を



卒業証書を授与される卒業生



### 優しく包み込む、紅白幕

小、中学校の卒業式で使用した紅白幕は平成元年卒業の飯館中1期生が寄贈したもの。平成最後の子ども達の門出を祝いました。

### 飯館中ありがとう 卒業生代表 井上 朱音さん

ふるさとの地で、学校生活を送り、全員そろって卒業しようと誓い合いました。

これからの自分、飯館村の輝く未来をしっかりと築くことで応援してくださった方へ恩返しをしていきたいです。



## 草野・飯樋・白石小学校

# 平成31年 第2回 飯舘村議会定例会



平成31年3月議会定例会は、3月4日から19日までの日程で開かれました。一般質問は7、8日に行われ、村議員が村政の重要な課題等について村側の考えを質しました。議会審議は19日に行われ、提出された議案は追加議案を含めて全て原案どおり可決されました。

## 今議会で可決された議案等

- 平成30年度一般会計補正予算
- 平成30年度国民健康保険特別会計補正予算
- 平成30年度簡易水道事業特別会計補正予算
- 平成30年度農業集落排水事業特別会計補正予算
- 平成30年度介護保険特別会計補正予算
- 平成30年度後期高齢者医療特別会計補正予算
- 平成31年度一般会計予算
- 平成31年度国民健康保険特別会計予算
- 平成31年度簡易水道事業特別会計予算

平成31年度農業集落排水事業特別会計予算

平成31年度介護保険特別会計予算

平成31年度後期高齢者医療特別会計予算

村営住宅条例の一部を改正する条例

職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部を改正する条例

職員の自己啓発等休業に関する条例の一部を改正する条例

議会の議決事件に関する条例の一部を改正する条例

東日本大震災に伴う村税の減免に関する条例の一部を改正する条例

飯舘村水道法施行条例の一部を改正する条例

さわやか基金設置条例を廃止する条例

桶地内団地建替工事請負契約の変更について

農林漁業体験実習館の指定管理者の指定事項の変更について

健康増進交流施設の指定管理者の指定事項の変更について

地域資源活用総合交流施設の指定管理者の指定事項の変更について

村道路線の認定について

飯舘村教育委員会教育長の任命につき同意を求めることについて

左記の者を飯舘村教育委員会の教育長に任命したので、議会の同意を求めます。

・遠藤 哲（福島市）  
固定資産評価審査委員会委員の選任につき同意を求めることについて

左記の者を固定資産評価審査委員会の委員に選任したので、議会の同意を求めます。

・齋藤 政行（前田）

## 村長村政報告

（紙面の都合上、一部省略しています）

### 長泥地区特定復興再生拠点整備について

1月23日に第3回特定復興再生拠点整備推進会議が開催されました。

会議では、居住促進ゾーン（集会所周辺）内の除染については、約2.5haを先行実施し、建物の解体と併行し、6月頃に完成の見込みとなっています。

また、同ゾーンに整備を予定している各施設の配置等の基本計画については今年7月末、造成等整備工事及び施設建設工事の実施設計については、2019年度末にそれぞれ完了予定です。

同ゾーンの整備工事については、2020年に着工し、2022年に完成の予定、完成しだい居住促進ゾーン内の避難指示解除を先行して実施する方針です。

### 帰還住民との懇談会について

1月26日、交流センター「ふれ愛館」で開催しました。

参加者からは、「飯舘郵便局の再開・郵便ポストの追加」「防災マップの作成」「携帯電話不通話区域の解消」「生鮮食料品の販売」「精米機の設置」等々、特に帰還者にとって日常生活に困っている身近な要望が多く出されました。

村としては、これらの要望の中で早期に可能なものについては、関係機関と協議し、実施に向け取り組んでいきます。

### サポートセンター事業

帰村された皆さまに開設していただきますサポートセンター事業の利用登録者が113人となり、参加者も多く、1日平均15.3人で、連日盛況にて運営しています。高齢者の介護予防と住民の交流の場として、高齢者を中心とする住民の居場所づくりに取り組んでいきます。

### いたてクリニックについて

いたてクリニックについて、利用者も徐々に増えて1日あたりの利用者は13.3人程度となっています。

診療日等は、利用者の状況を見ながら対応していきます。

### 農業関係

今年度の「生きがい農業」は、133件が取り組み、昨年度と合わせると293件に取り組みただき、「なりわい農業」については、今年度27件、昨年度と合わせると76件に取り組みただきました。また、「新たな農業」は今年度3件、昨年度と合わせると11件になっています。

これらを合わせると、農家数は380件となり、被災前の農家数約1200件に対して約31%にあたり、昨年度から約13ポイント増加しています。

なお、「生きがい農業」と「なりわい農業」の5%上乗せ補助は平成31年度を終期にしたいと考えています。

### 学校教育関係

2月13日に第3回飯舘村の学校等の在り方検討委員会を開催しました。小学校の統合、さらには中学校と一緒にした「義務教育学校」を2020年4月からスタートすることで決定しました。小学1年生から中学3年生まで、つまずきのない、子どもたち一人ひとりに寄り添った本村の一貫教育がさらに進むものと期待しています。

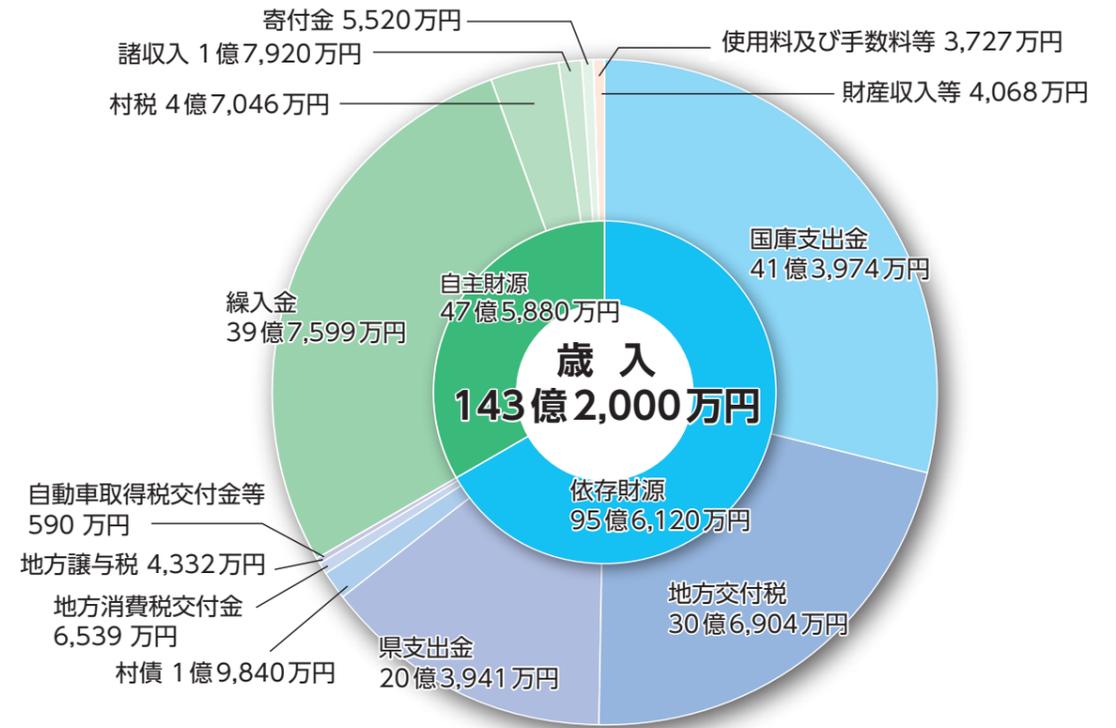
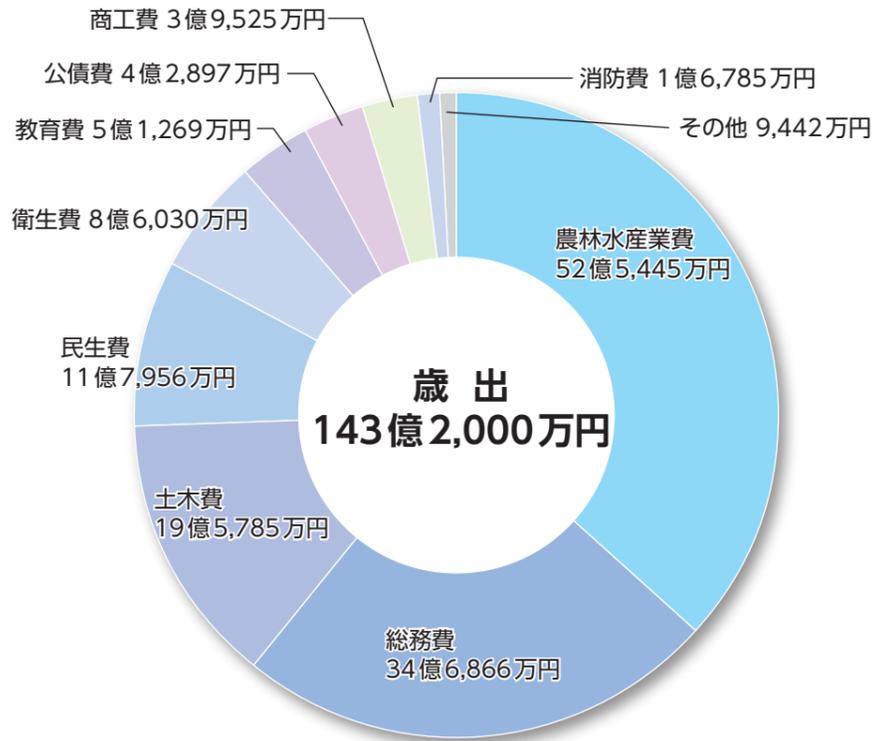
### 生涯学習関係

1月13日、交流センター「ふれ愛館」で、成人式を実施しました。式には、新成人56名中42名の出席がありました。

成人式に引き続き、伊勢谷友介さんが代表を務めるリバープロジェクトが協力してくださり、岡本真夜さんのコンサートや20歳の自分に宛てた手紙の開封などが行われ、心に残る成人式となりました。

いい予算でいこう!

# 平成31年度当初予算 143億2,000万円



平成31年度一般会計

## 歳出

平成31年度における  
村の支出総額

歳出予算総額のうち、震災前にはなかった復旧・復興の対応にかかる事業費は、約103億円で歳出予算総額の約7割を占めています。

当初予算は、事業の必要性、緊急性、費用対効果等を検証し、事業の効率化と経費の節減に努めました。引き続き規律ある財政運営堅持を念頭に、「までの精神を胸に、小さくても輝き続ける新しい村づくり」のための予算としたものです。予算配分については、復興計画の5つの基本方針に沿って行っています。

主な事業については次ページをご覧ください。

平成31年度一般会計

## 歳入

平成31年度における  
村の収入総額

自主財源 47億5,880万円  
年度に比べ16億6,947万円の増額です。

これは、国庫支出金を一旦、積み立てて使用する「帰還環境整備交付金基金」などの基金繰入金が増えたことなどによるものです。

依存財源 95億6,120万円  
歳入の大半を占める国庫支出金は、41億3,974万円で前年度に比べ15億4,539万円の増額。地方交付税は30億6,904万円で7億3,619万円の増額となっています。

国民健康保険特別会計	9億1,792万円
簡易水道事業特別会計	5億6,225万円
農業集落排水事業特別会計	4億3,738万円
介護保険特別会計（事業勘定）	11億1,422万円
介護保険特別会計（サービス勘定）	877万円
後期高齢者医療特別会計	6,638万円

平成31年度

## 特別会計

特定の事業を特定の収入で行うため、一般会計とは分けて設けた会計です

### 着実に前へ

本予算は、被災地域農業施設等整備工事、深谷地区多目的交流広場整備工事、農業基盤整備工事、村道の舗装機能回復工事などにより大規模な予算となっています。

平成31年度も、復興創生期間終了までに必要なインフラ整備を着実に進めると共に、村民の福祉向上のために必要な施策を進めていきます。

（金額は端数処理をし、万円単位にしています。）

### 31年度当初予算

平成31年度当初予算は、平成31年第2回村議会定例会で3月19日に可決成立しました。一般会計予算は143億2,000万円で、前年度に比べ47億7,300万円増、率にして50%の増額です。

当初予算の規模としては過去2番目となる大型予算です。

### 基本方針④ 原子力災害をのりこえる

1. 農業基盤整備促進事業・・・9億8,013万円  
営農再開に向けた暗渠排水、用排水路整備
2. 深谷地区復興拠点整備事業・・・9億1,431万円  
多目的交流広場整備工事
3. 大師堂住宅団地整備事業・・・5億2,697万円  
整備予定戸数12戸
4. 伐採支障木処理事業・・・3億3,267万円  
伐採支障木の撤去・焼却処分を行う
5. 事業再開帰還促進事業・・・1億65万円  
プレミアム商品券、商談会等イベント
6. 農業水利施設等保全再生事業・・・5億5,598万円  
ため池からの放射線拡散防止対策工事



### 基本方針① 生命(いのち)をまもる

1. 総合健診事業・・・3,209万円  
総合健診、特定健診、がん検診、人間ドック等
2. 予防接種事業・・・2,142万円  
法定予防接種、任意予防接種等
3. 放射線相談支援事業・・・1,576万円  
村民が抱える放射線に関する健康相談活動



## 平成31年度の 主な事業と予算



今年度の主な事業の予算額を紹介します。

### 基本方針② 子どもたちの未来をつくる

1. 被災児童生徒等就学支援事業・・・3,786万円  
認定こども園、小・中学校での就学支援
2. スクールバス運行事業・・・1億868万円  
スクールバス運転、購入等
3. 学力向上推進事業・・・1,826万円  
コミュニケーション力や思考力などを身につける出前授業等
4. 未来への翼、沖縄までの旅事業・・・2,387万円  
小・中学生研修



### 基本方針⑤ まいでいブランドを再生する

1. 被災地域農業復興総合支援事業・・・10億731万円  
村内での営農再開に要する農業用機械等の導入支援
2. 営農再開支援事業・・・7億4,641万円  
除染後の農用地保全による営農再開支援
3. 畜産再開素牛導入事業・・・2,544万円  
村内での畜産再開に要する素牛導入の補助
4. 事業再開等支援事業・・・1,500万円  
村外での営農再開に要する農業用機械、施設等の導入支援



### 基本方針③ 人と人がつながる

1. 移住・定住・交流事業・・・3,464万円  
移住定住支援事業補助金等
2. パークゴルフ場整備事業・・・1億1,000万円  
センター地区整備予定
3. 地域づくり推進事業・・・1,000万円  
行政区活動補助金
4. おかえりなさい補助事業・・・2,000万円  
帰村する村民向けの引っ越し補助金
5. 自治会同窓会事業・・・1,360万円  
人と人のつながりを補助



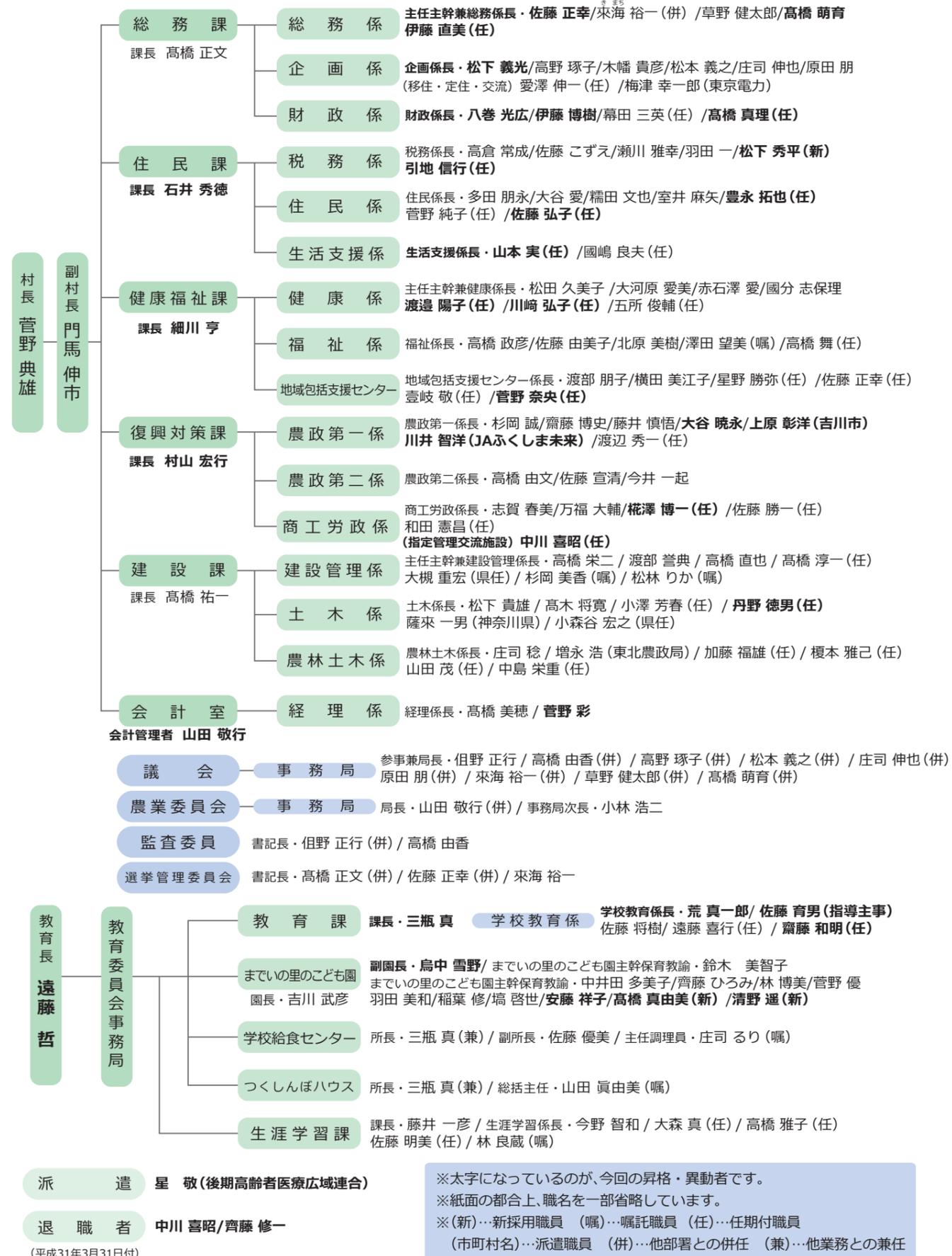
# 飯舘村役場 各係連絡先

4月1日より、生活支援係が村役場本庁舎で業務を行います。

本 庁	総務課	総務係 ☎ 0244-42-1611	消防・防災、選挙、法令、行政区長会、情報公開等
		企画係 ☎ 0244-42-1613	復興拠点整備、移住・定住・交流、広報・広聴、住民懇談会、統計等
		財政係 ☎ 0244-42-0310 (移住・定住)	
	住民課	住民係 ☎ 0244-42-1617	戸籍、各証明発行、国民健康保険、後期高齢者医療、ごみ、防犯、浄化槽、畜犬等
		税務係 ☎ 0244-42-1615	地方税の賦課・収納、所得税・住民税の申告相談、各税証明発行等
		生活支援係 ☎ 0244-42-1609	住民相談窓口等
	建設課	建設管理係 ☎ 0244-42-1624	村営住宅整備・維持管理、簡易水道・農業集落排水施設の維持管理等
		土木係 ☎ 0244-42-1623	道路、橋梁、河川整備・維持管理、建物解体等
		農林土木係 ☎ 0244-42-1610	農業基盤整備、農林土木施設の整備・維持管理等
	復興対策課	農政第一係 ☎ 0244-42-1621	生きがい農業、なりわい農業、認定農業者、新規就農、農業振興計画、畜産、林業、水田農業、土地改良区等
農政第二係 ☎ 0244-42-1625		除染対策、環境再生事業、農作物モニタリング調査、農業復興組合、作付実証、鳥獣被害対策、中山間事業、多面的支払交付金等	
商工労政係 ☎ 0244-42-1620		企業支援、就労・雇用支援、観光関係、原発事故賠償等	
会計室	☎ 0244-42-1627	村行政に関する会計業務等	
教育課	学校教育係 ☎ 0244-42-1631	認定こども園、小中学校、学童保育、預かり保育、スクールバス、学校給食センターの運営等	
農業委員会事務局	☎ 0244-42-1629	農業委員会運営に関すること	
議会事務局	☎ 0244-42-1628	村議会運営に関すること	
交流 センター	生涯学習課	生涯学習係 ☎ 0244-42-0072 (ふれ愛館)	生涯学習事業、青少年事業、スポーツ公園、文化財保護、読書推進、伝統文化関係等
		☎ 0244-42-0152 (スポーツ公園管理棟)	
いちばん館	健康福祉課	健康係 ☎ 0244-42-1637	健康増進、健診、子育て相談、予防接種等の支援等
		福祉係 ☎ 0244-42-1633	高齢者福祉、介護保険、介護認定、介護予防、障害者福祉、児童手当、子育て支援等
		地域包括支援センター ☎ 0244-42-1626	高齢者総合相談、高齢者権利擁護相談、介護予防ケアマネジメント等

# 平成31年度 村の組織と職員の配置

平成31年4月1日付で、職員の人事異動が行われました。平成31年度の体制は次のとおりです。





## ふくしま健民カード

### 4月です！春から健康づくりはじめましょう♪

村では、昨年9月から、までにコツコツ健康ポイント事業として「ふくしま健民カード」をスタートしました。

このカードは、県と県内市町村が連携して行う事業で、健康づくりの目標を立て、実践すると、お得な特典を受けられます。対象は、村に住所がある18歳以上の方です。

○期 間…平成31年4月1日～平成32年3月31日 ※提出期限も同日

○参加方法

- ①健康福祉課で配布している台紙に、自分が取り組む健康目標を立て、実施します。
- ②健康目標の達成、地域活動への参加、社会参加、健康診断の受診などでポイントを集めます。
- ③合計が3,000ポイント以上になったら、達成した台紙を持ち、健康福祉課へ。「ふくしま健民カード（ノーマル）」を受け取ります。カードを提示し、県内の協力店でお得な特典を受けましょう！ポイントを増やすと、カードがランクアップしていきます！



スマートフォンアプリで  
ご参加いただくことも  
できます！

iPhone端末の場合



OSバージョン:iOS 8.1以上  
機種:iPhone 5s以降



Android端末の場合



OSバージョン:Android 4.4以上  
機種:Android 4.4以降を初期OSとしている機種



## までのりの健康運動塾

村では、村民の方に好評の健康運動塾を4月からも行います。この運動塾に参加すると、「ふくしま健民カード」のポイント対象になりますので、ぜひご参加ください！

○日 時…毎週水曜日 午前10時15分～午前11時45分（受付午前10時～）

○場 所…交流センター「ふれ愛館」

○講 師…健康運動指導士 滝口 義光 先生

○持ち物…水または麦茶（水分補給用）※動きやすい服装と運動靴でお越しください。

○参加費…無料

問 健康福祉課健康係（いちばん館 ☎ 0244-42-1637）



月	日	内 容	
4月	10日(水)	介護予防	運動が苦手な方、いつまでも自分の足で歩きたい方におすすめ！
	17日(水)	メタボ	お腹周りが気になる方、体重を減らしたい方におすすめ！
	24日(水)	関節痛予防	運動が苦手な方、肩や腰、膝の関節痛で悩んでいる方におすすめ！
5月	15日(水)	男熱血教室	いつまでも若々しい体でいたい方、体重を減らしたい方におすすめ！ <b>※男性だけの特別教室です</b>
	22日(水)	介護予防	運動が苦手な方、いつまでも自分の足で歩きたい方におすすめ！
	29日(水)	メタボ	お腹周りが気になる方、体重を減らしたい方におすすめ！

## 東京オリンピックに向けて、いいたてっ子が全国へ発信中！ ホストタウンの活動へ称賛の声が寄せられています。



モニュメント交換を行った5人(手前左)

「飯館村には頑張ろうと努力している人がたくさんいる」「わたし達被災地は、もうかわいそうではない」「飯館村の未来を創っていく姿を、ぜひ見に来てほしい」という復興への道歩む中で感じた子ども達の力強い言葉が、会場中の心をつかんだ発表となりました。

自分たちの思いを全国に  
東京オリンピック開幕まで、500日となった3月12日、草野・飯櫃・白石小の5年生5人が、パナソニックセンター東京で開催された「ツナグ・ミライプロジェクト」に参加しました。これは、オリンピックを契機とした活動や交流を通じ、被災地と開催地の子とも達が「つながる」ことを目的に行われたものです。オリンピックエンブレムをモチーフに、ふるさとへの思いを込めてモニュメントを制作し、有明西学園（東京都）の児童と交換を行いました。



マスコット「ミライトワ」と「ソメイティ」も登場！

## 東京で活動紹介 ホストタウンサミット



オリジナルデザインTシャツの開発も紹介

飯館中生が、2月23日に東京都で開催されたホストタウンサミットで「復興ありがとうホストタウン」に選ばれているラオスとの交流に向けた取り組みを発表しました。飯館中は、ホストタウンの活動を積極的に実施しているとして招待を受けました。生徒らはラオスと村の郷土食を組み合わせた創作料理や村の魅力を伝えようと、作成したポスターを紹介しました。会場では、生徒が自ら考え、取り組んでいる姿勢に注目が集まっていました。



生徒が、大阪での表彰式に参加してきました

飯館中生制作映像受賞  
3月16、17日に、パナソニックが主催する映像コンテスト「KWN日本コンテスト2018」で飯館中生がふるさと学習の中で制作した映像が「ルックフォワード賞」を受賞しました。このコンテストは、映像制作活動を通じて、創造性やコミュニケーション能力を高め、チームワークを養うことを目的としています。飯館中生が制作した映像は、生徒が震災から立ち上がるようすを描いたものです。この映像は、パナソニックのホームページから見ることが出来ますので、ぜひご覧ください。

## 巣立つ卒業生に心をこめて 食を考える会から「祝い菓子」



多目的ホールで行われた贈呈式。きれいにラッピングされた一つひとつにメッセージが添えられていました

3月5日、「飯館村食を考える会」が、飯館中学校の3年生に、卒業祝い菓子を贈りました。祝い菓子は、顆粒大豆や白ごまなど、体によい食材を使ったクッキーで、当日の朝、地域活性化センター「いちばん館」で、会の皆さんが手づくりしたものです。祝い菓子を手渡した菅野一代会長(比曾)は、「おめでとうございます。皆さんの力は大きい。飯館の未来を引っ張って行ってほしい」とはなむけの言葉を贈りました。また、生徒を代表し、千葉萌香さんが、「ありがとうございます。夢に向かって前進したい」と感謝を伝えました。



交付を受けた高橋さん(中央)と菅野村長。右端は同行した父親の正弘さん。村長室にて

## フェンシングで全国大会へ 村もエールを送ります

3月6日、村役場で、県立川俣高校1年生の高橋智さん(白石)に、全国大会出場激励金を贈る交付式が行われました。高橋さんは、昨年4月から、同校フェンシング部で競技に取り組んできました。3月下旬に愛媛県松山市で開催される第43回全国高等学校選抜フェンシング大会で男子フルレ(団体戦)に出場することとなり、村が激励金を贈ることを決めました。高橋さんは、「友達に誘われ始めました。勝負の世界なので、勝ちたいと思っています」と大会への決意を語りました。



3月5日、飯野地域福祉センターでの開催が最終回となりました。長期にわたるご参加・ご支援、ありがとうございました

## ありがとう「いきいき体操教室」 7年間の開催に幕

平成24年1月にスタートした「いきいき元気教室」。村地域包括支援センターと県北保健福祉事務所が協力し、仮設住宅9か所・借り上げ住宅3か所で実施してきましたが、仮設住宅等の供与期間終了に伴い終了することになりました。担当者として各地の教室を訪問してきた同事務所の林和彦さんは、「逆に元気をもらっていた感じがします。それぞれの場所で出会った皆様の笑顔が、今も私の中に残っています」と振り返り、「何事にも無理せず、これからも元気に過ごしていただきたい」と話していました。

## 埼玉県春日部市で 復興を歩む村の姿を発信

2月16・17日、埼玉県春日部市中央公民館で開催された「春日部市16公民館合同フェスティバル」に村の特産品コーナーが設けられ、ナツハゼのジャムや甘酒、いいいて雪っ娘カボチャの加工品などを販売しました。また、3月5日から10日には、同施設の防災関連イベントの中で「復興を歩む～福島県飯館村『広報いいいて』から」と題したパネル展が開かれ、最終日には渡邊とみ子さん(前田・八和木)の講演「ふくしま『福幸』のために!」が行われるなど、村の復興の足取りが紹介されました。



「応援してるよ」「頑張ってるね」など春日部市の方々からあたたかい励ましの言葉をいただきました

## 長い間ありがとうございました 閉所に向かう「あづまっぺ」で

松川第一応急仮設住宅(福島市)敷地内のサポートセンター「あづまっぺ」。平成23年11月の開所以来、避難先で高齢者とその家族を支えてきましたが、3月末での閉所が決まり、デイサービスも2月28日に最終日を迎えました。開所時から管理者を務めた社会医療法人秀公会職員の菊田裕樹さんは「村の皆さんを支えたいという職員の気持ちがこの事業所をつくってきた。利用者さんに会えなくなるのはさびしいが、次につながる前向きなことに捉えたい。皆さんに元気で長生きしてほしい」と思いを語りました。



デイサービス最終日の活動の様子。午後には職員が手作りの卒業式を開いて利用者を見送りました

## 卒業生の誇りを胸に 飯館中学校同窓会 入会式

3月5日、飯館中学校の同窓会入会式が、多目的ホールで行われました。式には、数日後に卒業を控えた3年生が出席し、赤石澤涼さんが「入会のことば」を述べました。また、新たに入会する生徒を前に、小山茂会長(草野)があいさつし、「皆さんの活躍に力強い希望を感じてきたのは私だけではないと思う。先人も幾多の災害を乗り越えて来た。大切なふるさと飯館の未来の発展に思いを馳せよう」と呼びかけ、地域とのつながりが今後の人生に必ず生かされていくと語りかけました。



地域の人の思いがこもった学校であることを伝える小山会長(右端)と真剣に耳を傾ける生徒達

村民同士の交流でほっこり



長井絹代さん（前列右から3人目／関沢）が、仲間へのプレゼントに持参した趣味の紙細工を手に

「しあわせカフェ永井川（代表世話人・佐藤俊雄さん／草野）」の皆さんは、月に1度、村民同士でさまざまな交流活動を行っています。3月12日には、永井川集会所（福島市）で、輪投げやラダーゲッターなどの軽スポーツを楽しみ、持ち寄りのお茶うけでティータイム。楽しいひとときを過ごしました。

身近な話題をお届けします。皆さんからの情報もお待ちしています。



草餅とかぼち餅 持ち寄りの漬物

楽しさいっぱい！バドミントン交流会



交流会を主催した「いいたてスポーツクラブ（大澤和己理事長／上飯樋）」のブログサイトはこちらから

3月17日、第6回バドミントン交流会が、飯館中学校体育館で開催されました。32人の参加者は、ダブルスでゲームを楽しんだ他、通常のラケットの2倍半もある「デカラケ」で通常より5倍位大きな羽根を打つ競技や、長靴・バケツなどで飛んできた羽根をキャッチする「シャトルキャッチ」にもチャレンジ。各競技で、参加者の笑顔がはじけました。「シャトルキャッチ」では、キャッチした数に応じてお菓子がもらえるとなつて、大人も子どももさらに盛り上がりました。

心なごむ“小さなお茶会”



楽しみに待つ会員の声に応え、継続的にお茶会を支援してきた「カフェ・ド・フクシマ」の石川さん夫婦（最後列左端が石川さん・最前列右端が妻の千鶴子さん）と記念撮影

3月19日、南相馬市飯館自治会（北原昇会長／宮内）が、石神学習センター（南相馬市）で恒例の「小さなお茶会」を開催。約30人が腹話術やビンゴゲームなどを楽しみました。「小さなお茶会」は、福島被災者応援移動喫茶店「Café de FUKUSHIMA（カフェ・ド・フクシマ）」を開いている石川和宏さん夫妻の支援によるもので、昼食には温かな豚汁や焼き鳥、デザートには自家焙煎コーヒーと手作りケーキが振る舞われました。東京電力福島復興本社の職員も運営を手伝いました。

同自治会は、3月末で解散しましたが、村民同士が交流できるようなお茶会等を自主的に続けていく予定だそうです。

いいたてライフ



よい苗が育つよう願いをかけて苗代に立てられたお札

豊作を祈る 苗代づくり

春の彼岸の中日というと、種籾（たねもみ）浸しが始まりました。浸す場所は、川であったり種池であったり。種籾桜の色づきを見て、始める地域もありました。1週間から10日ほど浸した種籾は、日向に寝かせて、芽切りをして、苗代に蒔きました。苗代は、田んぼの隅この水口近くにあり、田植えができる大きさになるまで、そこで苗を育てました。

種籾を蒔く日には、「水口（みなくち）まつり」や「苗代まつり」が行われました。マンサクと桃の花を水口に刺す所、3本のカヤもしくはヨシに泥を付けて立てる所、やき米を供えたり蒔いたりする所と、地域によって、やり方はさまざま。小さな苗がこよりのように見えるので「水口まつり」を、「よりこまつり」「よりこ神様」と呼ぶ地域もあったそうです。いい苗が育ち、たくさん米が穫れるよう、皆で苗代に願いを込めていたのですね。

参考／写真転載 飯館村史第3巻「民俗」

村内で営農再開を予定している方は、復興対策課農政第一係・第二係にご相談ください。

営農再開に必要な手続きや、助成の紹介を行っている他、イノシシ柵・サル柵の貸与、堆肥の配布などさまざまな支援も受け付けています。

農政第一係 ☎0244-42-1621  
農政第二係 ☎0244-42-1625

出荷を行う「なりわい農業」を行う方も、自家用に「生きがい農業」を行う方も、再開前にご相談ください。

営農再開を予定している方は 農政係へ相談を

生活支援係は 飯館村役場で 業務を行っています

松川事務所は 閉所しました。

生活支援係の新しい電話番号は ☎0244-42-1609

3月まで松川第一応急仮設住宅で業務を行ってきた住民課生活支援係は、4月1日より、村役場本庁で、業務を行っています。

村役場の新年度の職員配置や各課の連絡先は、P20・21に掲載しています。合わせてご確認ください。

## 新タブレットの申し込みを受け付け中！

村では、昨年10月から新タブレットの申し込みを受け付けています。新タブレットには村の情報がすぐに分かる「イイタネちゃんお知らせアプリ」があらかじめインストールされていますので、すぐに利用できます！

また、皆さんがお使いになりたいアプリを自由にインストールしてご利用いただけます。申し込みは随時受け付けていますので、申し込みを希望される場合は企画係までお問い合わせください。

○利用料：約 1,550 円/月

○その他：通信量が 2GB を超えると、翌月になるまで通信が遅くなります。



## 実際に体験してみませんか？

### 新タブレット・イイタネちゃんお知らせアプリ体験会のお知らせ

村では、新タブレット及びタブレット・スマートフォン向けアプリ「イイタネちゃんお知らせアプリ」の体験会を開催しています。

タブレットやスマートフォンをお持ちでない方も自由に参加ができ、事前の予約も不要となっています。

皆さんのご参加をお待ちしています！当日は新タブレットの申し込み受け付けも実施します。

○日時…4月12日(金) 午後1時30分～午後3時30分  
4月25日(木) 午後1時30分～午後3時30分

○場所…飯館村交流センター「ふれ愛館」 研修室

問 総務課企画係 (☎ 0244-42-1613)

## 入札結果をお知らせします

入札日 / 2月26日(単位:円)

工事(業務)の番号・名称	契約額(税込)	請負業者	完成予定
交通安全施設設置工事	1,047,600円	(有)渡建工業	平成31年3月下旬
大型獣用箱わな購入	723,600円	福味商事(株)	平成31年3月下旬
ふくしま森林再生事業公有林施業総合管理業務委託	1,144,800円	(公社)福島県森林・林業・緑化協会	平成31年3月下旬
ふくしま森林再生事業公有林森林整備業務委託	11,016,000円	飯館村森林組合	平成31年3月下旬
大師堂住宅団地住宅性能評価業務委託	1,728,000円	(株)はりゅうウッドスタジオ	平成31年3月下旬

入札日 / 3月5日(単位:円)

いいたてスポーツ公園追加備品購入	8,532,000円	(株)オノヤスポーツ	平成31年3月下旬
------------------	------------	------------	-----------

## おかえりなさい補助金400件達成！

3月5日、帰村する村民の引っ越し費用の補助として村が一律20万円を補助する飯館村「おかえりなさい」補助金の400件目の申請があり、記念のセレモニーが行われました。

この日、400件目の申請を行ったのは池田サツキさん(大久保・外内)です。「自宅の周りに花を植えたり、畑を耕したり、村の生活は忙しいですよ」と笑顔を見せていました。



## おかえりなさい補助金申請 受け付けしています

村では、「おかえりなさい」補助金の申請を受け付けています。申請をする方は、身分証明書・通帳(写し)・印鑑をご持参のうえ、住民課住民係に申請してください。

○対象となる方…平成28年7月1日から平成32年3月31日までの間に、帰村のための引っ越しをした方で、村へ避難先変更の届け出をされた方。

○補助の範囲…震災前の1世帯につき1回、20万円。

問 住民課住民係 (☎ 0244-42-1619)

## 3月の村の動きと主なできごと

- 1日・農業者等との意見交換会(宿泊体験館きこり)
- ・草野・飯樋・白石小学校 保護者説明会(草野・飯樋・白石小学校)
- 4日・「おかえりなさい」補助金400人達成(村役場)
- 4日・「おかえりなさい」補助金400人達成(村役場)
- 4日・3月議会定例会(村役場議場)
- 5日・セブニュニフォーム Tシャツ寄贈記者発表(村役場)
- ・仮設住宅・公的宿舎管理人会議(松川事務所)
- 5日・10日・東日本大震災写真展(埼玉県春日部市・中央公民館)
- 7日・花き営農再開セミナー(交流センター「ふれ愛館」)
- 10日・あたりまえをありがとうと思うエピソード表彰式(交流センター「ふれ愛館」)
- 11日・きぼうの桜 植樹式(村立学校エリア)
- ・飯館村土地改良区理事会(村役場)
- 13日・飯館中学校 卒業式(小学校体育館)
- 16日・飯館中学校 キッドウィットニュース表彰式(大阪府・パナソニックセンター)
- 18日・までのりの里のこども園 卒園式(までのりの里のこども園)
- ・飯館地域農業再生協議会総会(交流センター「ふれ愛館」)
- ・学校運営協議会(飯館中学校)
- 20日・農業委員会定例会(村役場議場)
- 22日・草野・飯樋・白石小学校 卒業式(小学校体育館)
- 25日・定例教育委員会(村役場)
- 27日・飯館村土地改良区通常総代会(交流センター「ふれ愛館」)
- ・元気アップポイント表彰式(福島市・県青少年会館体育館)
- 28日・教職員合同離任式(村役場)
- 29日・松川事務所 閉所(松川事務所)
- 30日・自主文化事業「オオカミ絵に会いに行くバスツアーII」(福島市・山津見神社他)
- 31日・大倉集会所 落成式(大倉地区現地)



# HOPES

ホープス セカンド

2nd

飯館村消防団の団長となり、間もなく丸3年となる高野団長。全村避難が続く中で団長を引き継ぎ、消防団の指揮を執ってきました。村消防団は、3月6日、「平成30年度消防功労者消防庁長官表彰式」(東京都港区ニッショーホール)で表彰旗を授与されました。震災後の活動を振り返り「原発災害の時は、前団長と



## 村消防団の歴史を感じる表彰

高野 進さん(八木沢・芦原)

飯館村消防団に入団して以来約36年間にわたり村の消防活動に従事。平成28年度からは団長を務めています。全村避難中は、勤務先のある南相馬市に避難をしながら、団の活動に貢献してきました。



消防庁からの表彰を村役場で報告する高野団長(右から2人目)と赤石澤傳副団長(飯樋町/同3人目)。表彰旗は4月21日の春季検閲式でお披露目されます。

共に、村外から来た人の避難所の確保などに取り組みました。そして平成25年4月の山津見神社の火災は大変つらく忘れられません」と高野団長。厳しい環境下で献身的な活動を続けてきた団の使命感がにじみます。

消防団は、各地で団員確保が課題となっています。「私は勤務している会社の理解があつて活動させてもらっています。多くの人に入団してほしいですが、現状を考えると無理は言えません。それでもありがたいことに、村の団では、新入団員が途切れることなく入っています」。

全国で27団体が表彰を受けた今回。福島県では村消防団のみが対象でした。「現団長としていただいていた歴史と活躍が認められての表彰です」。高野団長は団の足跡に思いを馳せていました。

### へ編集後記

●新しい季節「春」がやってきました。ポカポカ陽気に誘われ、自然と気持ちも明るくなるものですね。4月からも広報を担当することになりました。取材を通して村民の方々の「楽しい」「好き」という気持ちを大切に伝えていきたいと思えます。嫌な話や暗い話をするより、お茶でも飲みながら好きな話をした方がきつと毎日楽しいはず。これからも、どうぞよろしくお願いたします。(木幡)

●中学校のホストタウン活動にも支援をいただいているセブンユニフォームさんから、「あたりまえをありがたと思う日」に寄せて、素敵なTシャツをご提供いただき、当日役場職員が着用しました。エピソード募集へもたくさんのご応募をいただき、共感の広がりに力をもらう日々でした。本当にありがとうございました。(星)



飯館村は「日本で最も美しい村」連合に加盟しています。